

## 研究協力のお願ひ

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

整形外科科学教室

### 記

研究課題名：30歳未満のスポーツ選手のアキレス腱断裂の病態の解明

研究の意義：アキレス腱断裂は腱の退行性変性が生じる40代以降に多く発生します。

アキレス腱断裂が30歳未満の若年者に生じた場合、その原因が活動性の高さによるものか、腱の変性に起因するものかを検討します。若年例の場合でも腱に高度な変性所見が認められるのであれば、それは重要な知見であり、その組織所見は後療法を決定する上でも重要な要素となります。

研究の目的：30歳未満のアキレス腱断裂例のアキレス腱の組織学的検討を行います。

若年例においても断裂するアキレス腱にはすでに腱の変性が先行しているかどうかを調査します。また、後方視的に治療前後の画像所見や臨床成績を調査します。

研究の対象：2005年以降に本学病院でアキレス腱断裂の手術を行った16歳以上30歳未満の患者さんとなります。

研究の方法：30歳未満のアキレス腱断裂に対して手術を行った症例の手術中に採取した断裂部の腱の組織学的検討を行います。また、術前後のMRI所見と臨床スコア（JSSFスコア、ATRSなど）を調査します。さらに、術前後の足関節可動域、下腿周長、片足爪先立ちか可能かどうか、スポーツ復帰時期や術後合併症を調査します。

研究期間：2017年7月4日～2027年3月31日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：被験者の個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにします。また、当該被験者より個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示を行います。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 看護学部

TEL 072-683-1221(代表) 内線 56469 (安田 稔人)

利益相反について：本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明するため、本学では、利益相反に対する基本的な考え方を「大阪医科薬科大学利益相反ポリシー」として定め、研究の実施やその情報の普及・提供が適正になされているかどうかを客観的に判断し評価する仕組みとして研究に係る利益相反マネジメントを導入しております。本研究にかかる費用は、整形外科学教室の講座研究費から支出します。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：研究責任者看護学部 臨床医学（看護） 教授 安田 稔人

研究分担者 整形外科学 講師（准） 嶋 洋明

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大  
阪府高槻市大学町 2 番 7 号大阪医科薬科大学看護  
学部

TEL 072-683-1221(代表) 内線 56469 安田 稔人